

学 校 概 要

【 校章 】

1 学校名
豊橋市立前芝小学校



2 所在地等
〒441-0152
愛知県豊橋市前芝町字西堤 30 番地
TEL : 0532-31-0500 F a x : 0532-34-1686
URL : <http://www.maeshiba-e.toyohashi.ed.jp/>
e-mail: maesiba-e@toyohashi.ed.jp

【交通案内】

しおかぜバスかずクリニック前バス停下車 西へ 200m

3 学校規模

学級数 : 通常学級 7 特別支援学級 2 合計 9 学級
教職員数 : 校長 1 教頭 1 教諭 11 養護教諭 1 非常勤講師 1
支援員 2 事務職員 1 用務員 1 合計 19 名
児童数 : 男子 117 名 女子 99 名 合計 216 名

4 本校の教育

(1) 校区の歴史

本校は三河湾に面した自然豊かな地域であり、昔から自然の恩恵を受けて生活してきた地域である。昭和初期にかけて日本三大海苔生産地といわれ、海苔養殖業は地域の産業として発展してきた。また、六条潟や西浜は古くからハマグリ、アサリの最適な漁場として知られていた。その後、都市整備計画にともない漁業は行われなくなり、ハウス栽培や養鶏などの産業へ移行されてきたが、魚貝類の食品加工業は今も発展している。

地域との交流活動においては、保育園、小学校、中学校、地域の人々が一堂に会した「三校合同運動会」があり、今年60回目を開催した。他にも学校を会場として、地域と保・小・中のPTAが協力して行う「ふれあい夏まつり」、老人クラブとの交流を大切にした「昔の遊びを体験する会」などをはじめに、学年ごと地域ボランティアを招集した活動など多く実施している。また、海岸に近く海拔の低い地域のため防災に対して関心が高く、学校と地域が合同で行う防災訓練を行っている。

(2) 本校の教育目標

小学校教育（心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すこと）をふまえ知・徳・体のバランスのとれた子どもを育てる。

つよく	○がんばる気力・体力のある子	【体】
かしこく	○自ら意欲的に学ぶ子	【知】
むつまじく	○助け合い・仲よくする子	【徳】

(3) 経営方針

「感謝と感動の広がる前芝小学校」を合い言葉に、子どもたちが意欲をもって日々の学習に取り組める学校づくりをめざす。

- 学校・保護者・家庭が一体となった教育活動の展開を図る。
- 支え合える教師集団、学び合える教師集団の確立を図る。
- 学校からの情報の発信により、地域の理解を深めた学校づくりを図る。

〈つよく〉

- ・ 聞く姿勢をはじめとした学習規律の確立
- ・ あいさつを通した礼儀正しい心の育成
- ・ 黙々掃除を通した働くことを大切にする心の育成

〈かしこく〉

- ・ 聴く・書く・話す・読む力の育成
- ・ 聴いて→考えて→つなげて話す能力の育成
- ・ 自ら学ぶ意欲（わかる・できる）の育成

〈むつまじく〉

- ・ 30分放課を利用した外遊びの習慣づくり
- ・ 基本の運動を通した体力づくり
- ・ 自他を認める人間関係づくり

(4) 本年度の重点努力目標

めざす子どもの姿

『基礎・基本が身に付いた子 自己表現のできる子の育成』

- めざす子どもの姿を実現するために、教師の『学級経営力』と『授業力』の向上を図る。
 - ・ 学級経営を基盤とした子ども同士の考えをつなぎ合う授業に取り組む。
 - ・ 子どもをとらえ、『考えること』と『考えさせること』を構成した授業を計画する。
 - ・ 具体的な手だてをもとに研究実践し、教師相互の学び合いを探る。

Application for Participation
Associated Schools Project(APS) for Promoting International Education

「自然豊かな前芝再発見」
～地域の自然を愛し、地域の文化を知る～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution
(please use extra sheets if necessary)

1 Description of the Project (プロジェクトの概要)

本校では、これまで自然環境や産業、町の成り立ちや自分たちの町の特徴、これから自分たちの生き方にかかわる前芝の歴史、自然の恵みを受ける勤労生産など地域の自然や環境について教育活動を実践してきた。また、地域の方を講師に招いて体験活動を取り入れてきた。そこで、さらに地域を知り、地域から学び、地域のよさを守る持続可能な社会づくりを推進していく教育（E S D）を推進することを通して「地域の環境を見直す前芝っ子」の育成をめざしている。

E S Dを推進していくための活動として、これまでの教育課程を見直し、組み直すことで各学年が関連して扱える継続的な取り組みができるようにしたい。その実践結果は地域へも発信できるプログラムを考えて行っていきたい。そうすることによって、自分たちの郷土を見つめ、守り育てようとする機会につなげていきたい。

それぞれの学年が地域と関係した学習を実践し継続していくことで、地域の人々との結びつきが生まれ、子どもたちは地域が好きになり大切に感じるだろう。そして、地域の自然を保護していくことの必要性に気づき、地域に愛着をもって成長していくことができると考えている。

そして、日本の中の前芝、さらに世界の中の前芝を考えさせ、自分たちの住む地域をより暮らしやすい地域へと発展させていこうとする意欲をもった子どもたちを育成したいと考えている。

2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、E S Dを「環境と文化」の立場から取り組みを始める。自分たちの住んでいる町の地形や自然から生まれた産業や文化を知り、地域の発展を願った先人から郷土愛を受け継ぐ学習を深めることで、持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ教育に当たると捉えている。これから自分たちがこの地域をさらに暮らしやすい地域にしていくためにはどんなことが大切なのか考えさせながら、自分たちの生活を見通すことができるようにすることで現実的な問題としてとらえさせていきたい。

(1) 環境を生かした学習

- ・ 干潟の生き物学習
- ・ 生きものマップ作り

神社・公園や豊川放水路・佐奈川・前芝海岸などの生き物を観察して、その豊かな環境を知り、自然を保護したり環境の保全をしたりする必要性に気づく。

(2) 地域の文化を受け継ぐ活動

- ・ 海苔づくりの学習、海苔すき体験
- ・ 佃煮工場見学

海岸に近くて広い干潟ができる立地条件から海苔の養殖に適していた地域の発展のひとつであるのり養殖の歴史から人々の努力に気づく。

(3) 地域の施設を生かした学習

- ・ 昔の道具、昔の生活の学習
- ・ 平和学習（豊川工廠戦没学徒の碑）、戦争体験を聞く会（豊橋ユネスコ協会協力）等地域の歴史や文化への理解を深めることで現在の生活にいたるまでの人々の苦労や努力、戦争を体験した人々から未来への願いをもち強く生き抜くことの大切さを感じ取る。

(4) 勤労体験学習

- ・ 稲作、菜の花畑の活動
- ・ 花壇の整備や芝生の運動場の維持管理

年間を通して田んぼにかかわる栽培活動を行うことで、米の生産の大変さや食物の大切さを知る。緑化委員会による呼びかけで芝生の運動場の維持管理活動を全校児童で行う。

3 Execution（プロジェクトの実施）

本校では、E S Dの目的を生きものが多く生息する「環境と文化」の観点から学習を深めていきたい。海に近く、豊川の河口に位置する自分たちが住む町は、特徴的な文化や自然があり、地域の人とつながりを大切にして学習をすすめて行くことで、持続可能な社会づくりの担い手を育てることになると考えていきたい。

そのために、次の総合的な学習の時間に関する活動の内容と教科の授業や行事と関連付けた活動を行う。それらの目的を達成するために活動を多く取り入れる主な各学年の取り組みについてE S Dカレンダーを作成する。

(1) 活動を進めるためのE S Dカレンダー（6年生の例）

6年生では、これまで平和学習に重点を置き、E S Dカレンダーを作成して取り組んでいる。

例示 6年生のE S Dカレンダー

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	ふるさとの良さを伝えよう										
社会	長く続いた戦争と人々の暮らし 新しい日本、平和な日本										
道徳	学校への思いを高める ・学校のはこり										
総合	前芝の歴史を調べる					戦争体験を聞く 戦争遺跡を見学					
行事	学芸会で戦争について劇で表現する										

(2) 環境を生かした学習 主に干潟の学習

前芝海岸には遠浅の六条干潟がある。干潟は生きものの宝庫で、貝類・カニ類などたくさんの生き物を観察することができる。大潮の日を選んで出かけ、干潟の生き物の観察会を行っている。生きものの観察を通して命の大切さや環境の保全の必要について学んでいる。



前芝海岸の干潟の観察



干潟の生き物を観察、図鑑作り

(3) 地域の文化を受け継ぐ活動 主に海苔すき体験

前芝は海苔養殖の発祥の地として記念碑や開発した人の業績をたたえる碑がある。地域には昔の海苔養殖に携わっていた方が多くいて当時のようすを知ることができる。学校には寄贈された海苔の養殖の道具がたくさん展示されているので、

ボランティアの方からそれらの道具の使い方や当時の生活の様子を教えていただく学習が続いている。



昔の道具について説明を聞く



海苔すきの体験活動

(4) 地域の施設を生かした学習 主に平和学習

前芝中学校の校門の隣にある豊川工廠戦没学徒の碑から、身近にある戦争の跡を学習のスタートとしている。6年生が豊橋公園に出向いたときにボランティアの方から戦争体験の話の聞いたり、戦争の遺跡を見たりしながら命の大切さや平和の尊さを学ぶ取り組み

みをしている。



豊川工廠戦没学徒の碑



戦争体験について話を聞く

(5) 勤労体験学習 主に田んぼにかかわる体験

学校の南にある休耕田を利用した「すくすく田んぼ」は地域の方に協力を得て5年生が稲作を行っている。耕うん、代かき、田植え、除草、稲刈り、はざかけ、脱穀、菜の花づくりと一年中を田とかかわっている。すべて学校に保存してある昔の道具を使って体験活動をして、お米を生産している。昔の生活を学びながら勤労の大変さと収穫の喜びから感謝の気持ちを感じ取る活動をしている。



田植え



はざかけ

4 Type of materials to be used (使用する教材)

「かがやくとよはし」 平成23年4月1日発行 : 豊橋市教育委員会

「川と前芝」 平成2年3月31日発行 : 豊橋市立前芝小学校

「六条潟と西浜の歴史」 昭和56年10月 発行

: 牟呂漁業共同組合、前芝魚業協同組合、梅藪漁業協同組合

校区のあゆみ「前芝」 平成18年12月25日発行 : 豊橋市総代会

5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

- ① プロジェクトの後には、それぞれの活動の成果を生き物図鑑・平和新聞・田んぼ新聞などとして個人のまとめをする。
- ② 発表の場は、保護者や地域の人々の来校する学校開放日や授業参観日の授業や掲示物として公表する。また普段の生活の中でも児童の態度や姿勢を観察して児童のようすを評価する。
- ③ 上記の評価とともに、学校評議員を通じた地域からの評価や、学校行事・個人懇談会で行う保護者アンケートを年2回実施していることから、E S D活動への取り組みについて見直しを図り、地域の環境を見直す前芝っ子の育成をすすめるための活動を改善していきたい。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the APS National Co-ordinator of my country.

(本校を代表して、ユネスコAPSの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってAPSに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年APSコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動レポートを提出します。)

19 / 2 / 2014

Date (日付)

校長, 豊橋市立前芝小学校

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (校長) Institution's name (学校名)